

令和 5 年 6 月 15 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18K00334

研究課題名(和文) 近世日本古典演劇の翻刻と翻訳に関する基礎的研究

研究課題名(英文) The basic research on the reprinting and translation of classical modern Japanese theater

研究代表者

金 昭賢 (Kim, Sohyun)

早稲田大学・坪内博士記念演劇博物館・その他(招聘研究員)

研究者番号：10755721

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、未翻刻浄瑠璃正本を翻刻し、活字化された作品を国内外の研究者にテキストを提供して学術的に貢献するため、浄瑠璃本の調査、翻刻作業、テキストデータの作成を行い、『大功艶書合』『唐錦艶書功』などの作品を開発したWebサイトで公開した。また、公開に向けて『容競唐土噺』『七草若菜功』などの作品を翻刻し、翻刻テキストのある作品から、『本朝三国志』を韓国語に翻訳した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、未翻刻浄瑠璃正本を翻刻して、国内外の研究者にテキストを提供することで学術的に貢献した。とくに研究期間中に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日本の古典演劇に関心をもつ研究者に該当分野の情報をWebページで提供して学術的に貢献する活動が、より意義をもつようになったと思われる。今後もこのような研究成果を踏まえて、積極的に翻刻・翻訳したテキストをインターネット上に公開して、成果の利活用を促進していきたい。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to contribute academically by reprinting the original text of joruri, which has never been reprinted, and providing them to researchers both in Japan and overseas. For this purpose, in this research, I investigated joruri texts that have never been reprinted, conducted the reprints, and released the reprinted texts on the web page. Works such as "Taiko Enjoawase" and "Karanishiki Enjo no Isaoshi" have been released on a dedicated site. Additionally, I reprinted works such as "Sugatakurabe Morokoshi Banashi" and "Nanakusa Wakana no Isaoshi" for publication on the website. Furthermore, I translated into Korean works such as "Honcho Sangokushi" for publication on the website.

研究分野：日本文学

キーワード：日本古典演劇 人形浄瑠璃文楽 浄瑠璃本 翻刻 Webページ公開

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

日本の近世古典演劇は、世界に誇れる伝統文化であり、国際的な関心が極めて高い文化資源である。「文楽」と称される人形浄瑠璃は、能と歌舞伎と並んで日本を代表する古典演劇として世界に名をはせている。しかし、舞台上に上演されるためには不可欠な台本である浄瑠璃本は、多くが江戸時代に生れた高度な戯曲であるため、十分な研究が行われていない上、さらに国内外の研究者の数も減少している。

上記の状況を踏まえて、未翻刻浄瑠璃正本を翻刻して、国内外の研究者にテキストを提供することにした。

2. 研究の目的

本研究は、未翻刻浄瑠璃正本を翻刻し、活字化された作品を多言語に翻訳することによって、国内外の研究者にテキストを提供して学術的に貢献することを目的とする。

3. 研究の方法

本研究は、以下の研究方法をもって遂行した。

未翻刻浄瑠璃正本の調査

未翻刻浄瑠璃を翻刻するにあたって、底本となる浄瑠璃本を選ぶため、世界最多の浄瑠璃本を所蔵し、画像データベースとして Web 公開している早稲田大学演劇博物館の資料を優先的に調べ、翻刻作品を選定する。

翻刻作業

の調査で選定した未翻刻浄瑠璃本を翻刻する。

翻刻したテキストの Web 公開のための凡例とテキストデータの作成

浄瑠璃本文のテキストデータを作成するにあたり、浄瑠璃正本の特色を踏まえた研究を行う。とくに韓国語などに翻訳する際に参考になる凡例・用語の統一などをも工夫する。

翻刻したテキストを公開する

翻刻したテキストを順次インターネット上で公開して、関連研究者へ研究資料として提供する。また、修正点など意見や要望を積極的に受け入れて、テキストの質を向上させ、良質な研究資料になることを目指す。

4. 研究成果

上記の研究方法により、以下のような研究成果を得た。

翻刻した作品

翻刻候補とした浄瑠璃本の中から、『容競唐土噺』(1768年初演)、『九州与次兵衛灘』(1771年初演)、『讃州屏風浦』(1778年初演)、『七草若菜功』(1782年初演)、『大功艶書合』(1787年初演)、『韓和聞書帖』(1787年初演)、『筆始いろは曾我』(1791年初演)、『唐錦艶書功』(1794年初演)、『鬼上官唐土日記』(1796年初演)、『千里竹雪曙』(1798年初演)、『唐土織日本手利』(1799年初演)を翻刻した。

Web 公開した作品

Web ページ(<https://bundoku.com/>)に『九州与次兵衛灘』(1771年初演)、『大功艶書合』(1787年初演)、『韓和聞書帖』(1787年初演)、『唐錦艶書功』(1794年初演)、『唐錦艶書功』(1794年初演)、『鬼上官唐土日記』(1796年初演)を公開した。また、公開に向けて『容

競唐土噺』(1768年初演)、『讃州屏風浦』(1778年初演)、『七草若菜功』(1782年初演)、『千里竹雪曙』(1798年初演)のテキストデータを作成した。

翻訳した作品

『本朝三国志』(1719年初演)を韓国語に翻訳した。今後テキストデータを作成して、Web公開する。

学会発表

金志善(共同発表者)、金昭賢「植民地朝鮮における在朝鮮日本人と文楽」『京城日報』記事による1920年の公演を中心に、東洋音楽学会 第71回大会、2020年11月8日、オンデマンド

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 金志善（日本学術振興会特別研究員RPD、東京大学）、金昭賢（早稲田大学演劇博物館招聘研究員）
2. 発表標題 植民地朝鮮における在朝鮮日本人と文楽 『京城日報』記事による1920年の公演を中心に
3. 学会等名 東洋音楽学会 第71回大会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

読む文楽・未翻刻浄瑠璃作品データベース https://bundoku.com/

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------